

令和4年度

「石田市長と語ろう！まちづくり懇談会」

ご意見・ご要望に対する回答について

ご意見・ご要望の一覧

項 目	行 政 区	ページ
商業施設の誘致及び移動スーパー事業の実施について	太田新町地区	1
診療所の誘致について	太田新町地区	2
旭マイビレッジ公園（太田4号広場） 腐食フェンスの交換について	太田新町地区	3
押揚児童公園・三番蔵児童公園・新町公園 トイレ内部のペンキ剥がれについて	太田新町地区	3
三番蔵児童公園・新町公園のトイレ便器洋式化について	太田新町地区	3
デマンドタクシーの利用区域について	太田新町地区	4
路線バスの計画について	太田新町地区	5
はさき号の増便について	太田新町地区	5
かもめ大橋の土日無料開放について	太田新町地区	6

石田市長と語ろう！まちづくり懇談会

内容は要約しております。また、正式な用語に一部変更しておりますので、ご了承ください。

ご意見等の要旨	回 答
<p>太田新町区（１）</p> <p>商業施設の誘致及び移動スーパー事業の実施について</p>	<p>スーパーマーケット等の店舗は、民間事業者が自ら市場調査や立地条件等の情報を収集分析し、採算性が十分であると判断してはじめて立地の決定がされるものです。</p> <p>市といたしましては、多くの民間事業者に神栖市へ進出していただけるような、活気のあるまちづくりを進めていきたいと考えております。</p> <p>なお、食料品等の購入手段の一つといたしまして、現在、株式会社セイミヤにおいて、市内平泉方面での移動訪問スーパー事業を実施していただいております。セイミヤと継続的な協議をしておりますが、神栖店および銚子店からの販売圏域を考慮すると、太田新町地区への事業拡大は現在のところ難しいとこのことです。</p> <p>このため、市といたしましては、第８期介護保険事業計画策定時に実施したアンケート調査において、買い物が困難な状況にあると回答された方の割合が他の地域と比較して高い若松中央・須田・下幡木・波崎などの１２地区を対象に、今年度、移動スーパーの需要を調査したいと考えております。</p> <p>さらに、市内事業者等を対象に移動スーパーへの参画意向の調査を実施するとともに、ボランティア経験者の皆さまを対象とした「店舗までの送迎」や「買い物代行」の参加意向調査を実施するなど、様々なアプローチからの買い物支援策を模索しているところです。</p> <p>今後、これらの調査結果を十分に精査し、新たな買い物支援策の実現に向けて取り組んでまいります。</p>

ご意見等の要旨	回 答
<p data-bbox="151 257 454 302">太田新町区（２）</p> <p data-bbox="151 336 526 414">診療所の誘致について</p>	<p data-bbox="550 336 1428 537">神栖市では、人口当たりの診療所数が県平均や鹿嶋市などと比較して、少ない状況であり、特に若松・太田地区を含む第２圏域につきましては、市内で最も少ない地域として認識しているところでございます。</p> <p data-bbox="550 537 1428 817">このようなことから市では、診療所の開業や既存診療所の診療体制強化を支援する対策を講じており、平成３０年度以降、６施設が市内に新規開業し、今年度も平泉地区に眼科、須田地区に小児科の診療所が開業する予定であります。また、令和５年４月には、太田地区の宝山ハートクリニックが診療機能を拡張する予定であると伺っております。</p> <p data-bbox="550 817 1428 1019">なお、国の方針でも、かかりつけ医の機能強化や診療所の不足・偏在対策といった必要性が示されておりますので、こうした動向にも留意しながら、引き続き皆様が住み慣れた地域で生活を営めるよう、市といたしましても努めてまいります。</p>

ご意見等の要旨	回 答
<p>太田新町区（３）</p> <p>旭マイビレッジ公園 （太田４号広場）腐食 フェンスの交換につ いて</p>	<p>ご指摘のとおり、フェンスの腐食を現地にて確認 いたしましたので今年度中にフェンス改修を行って まいります。</p>
<p>太田新町区（４）</p> <p>押揚児童公園・三番蔵 児童公園・新町公園ト イレ内部のペンキ剥 がれについて</p>	<p>今年度中に塗装工事等の手直し工事を行ってまい ります。</p>
<p>太田新町区（５）</p> <p>三番蔵児童公園・新町 公園のトイレ便器洋 式化について</p>	<p>現在、市内には、９５箇所の公園があり、施設の 老朽化及び施設整備等は公園施設長寿命化計画に基 づき優先順位を定め、計画的に既存公園施設及び遊 具等の維持管理を実施しております。 今年度は、公園施設老朽化対策等、既に複数予定 しておりますことから、要望のありました洋式トイレ への改修につきましてはトイレ全体の改修も含め、 令和５年度以降の年次計画に位置付けてまいります。</p>

ご意見等の要旨	回 答
<p data-bbox="151 257 454 302">太田新町区（6）</p> <p data-bbox="151 336 526 425">デマンドタクシーの利用区域について</p>	<p data-bbox="550 336 1428 537">神栖市デマンドタクシーにつきましては、市内を4エリア（北・中北・中南・南）に分け、利用者の自宅から目的地までドアツードアで運行する予約制・乗合制の公共交通サービスとして提供しているものです。</p> <p data-bbox="550 537 1428 817">エリア設定の考え方は、生活拠点となっている、波崎地区、矢田部地区、若松地区、神栖東部地区、神栖中部地区、神栖西部地区を中心とした地域内交通を担うとともに、乗り合いによる1時間に1便の運行といった機能を持たせる一方、民間タクシー事業者の事業活動への影響等を勘案し、市内を4つのエリアに分けて運行しているものです。</p> <p data-bbox="550 817 1428 1097">また、当初エリア内での運行に限定しておりましたが、市民からの要望を受け、平成22年度から乗継サービス、令和元年度から隣接する2エリアまで乗継なしで移動を可能とするエリア間移動サービスを開始し、さらに、令和2年度からは、利用者である市民が利用しやすいよう、中北エリアと中南エリアの重複エリアの見直しを行いました。</p> <p data-bbox="550 1097 1428 1332">市といたしましては、今後ともニーズの変化などを把握しながら、市民にとって利用しやすく、将来にわたり持続可能な公共交通体系の構築を目指し、市民や交通事業者等を構成員とする神栖市地域公共交通活性化協議会において検討してまいりたいと考えております。</p>

ご意見等の要旨	回 答
<p data-bbox="150 257 453 300">太田新町区（７）</p> <p data-bbox="150 338 523 421">路線バスの計画について</p>	<p data-bbox="550 338 1431 857">路線バスの運行ルート設定につきましては、一義的には路線バスの運行事業者が事業の採算性等を勘案して判断するものと考えておりますが、現在の「ゆ～ぽ～とはさき」バス停から若松中央や太田新町へ入る路線バス海岸線のルート延伸及び新たにバス停を設置することにつきまして、運行事業者である関東鉄道株式会社に確認したところ、海岸線は、鹿嶋市から銚子市間を結ぶ長距離・長時間路線となっており、要望いただいたルートとした場合、運行距離・時間が増えることにより、乗務員の負担の増加や既存利用者への影響、鉄道との接続時間の調整等の課題があることから、現状では対応することが難しいとの回答がありました。</p> <p data-bbox="550 857 1431 1099">市といたしましては、市民にとって利用しやすく、将来にわたり持続可能な公共交通体系の構築を目指し、今後ともニーズの変化などを把握しながら、市民や交通事業者等を構成員とする神栖市地域公共交通活性化協議会において検討してまいりたいと考えております。</p>
<p data-bbox="150 1218 453 1261">太田新町区（８）</p> <p data-bbox="150 1299 523 1382">はさき号の増便について</p>	<p data-bbox="550 1299 1431 1458">高速バス（波崎～東京駅線）につきましては、現在新型コロナウイルスの影響により２往復（４便）の特別ダイヤでの運行となっており、利用する方にはご迷惑をおかけしております。</p> <p data-bbox="550 1458 1431 1700">現在、はさき号につきましては、関東鉄道株式会社及びＪＲバス関東株式会社により運行されておりますので、運行事業者に今回のご意見を伝えさせていただき、今後、新型コロナウイルスの影響が落ち着きましたら、以前のダイヤへの変更や増便等のお願いをしてまいります。</p>

ご意見等の要旨	回 答
<p>太田新町区（９）</p> <p>かもめ大橋の土日無料開放について</p>	<p>かもめ大橋の無料開放の過去の例として、平成２７年の７月から９月に実施された夏期無料開放キャンペーンでは、千葉県が国の「地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金」を活用して実施し、平成２８年の９月・１０月の土日祝日を無料にするキャンペーンでは、同様に千葉県が観光客誘致のため独自で財源を充て、実施しました。同じように土日無料開放キャンペーンを実施するためには、いずれかの自治体で財源を補填する必要があり、多額の財源の確保が課題となります。</p> <p>当市単独での無料開放は、利用者が神栖市民に限らないことや、当市単独では、補填する財源の確保が難しいことから、近隣自治体と協力し、検討を行ってまいりたいと考えておりますので、引き続き、ご理解ご協力をお願いいたします。</p>